



上尾市こども計画(案)に 係る市民コメント結果

上尾市子ども支援課

上尾市子ども計画(案)に係る市民コメント結果

上尾市市民コメント制度要綱に基づき市民コメントを実施し、上尾市子ども計画(案)に対する意見募集を行いましたので、報告いたします。

ご意見をお出しいただいた皆様には心より感謝申し上げます。

○募集期間: 令和6年12月2日(月)～令和7年1月6日(月)

○設置場所: 子ども支援課、市役所1階情報公開コーナー、各支所・出張所・公民館
上尾市 Web サイト

○対象者: 上尾市内に在住・在勤・在学の人
上尾市内に事務所・事業所・固定資産を有する人、利害関係者

○実施結果:

1. 提出方法及び人数

提出方法	提出人数(一般、18歳以下)
1. 直接窓口	0人
2. 回答フォーム	34人(18人、16人)
3. メール	2人(2人、0人)
4. ファクス	1人(1人、0人)
合 計	37人(21人、16人)

2. 意見の種別及び件数

意見種別	意見件数、掲載ページ			
	一般	ページ	18歳以下	ページ
計画全般	2件	1	—	
子育て支援全般	4件		3件	
子ども・親の健康	4件	2	2件	12
幼稚園・保育所	5件	3	3件	
学童保育所	4件	4	—	
教育	7件	5	3件	13
こどもの食・安全(ボランティア)	6件	7	3件	
障害児支援	6件	8	—	
子ども・親の居場所	3件	9	6件	13
啓発	3件	10	—	
その他	4件	11	—	
合 計	48件		20件	

《一般の意見》

意 見	対 応
■計画全般	
<p>こども計画案 5 ページ</p> <p>2こどもまんなか社会の実現に向けての中に、幼児期までのこどもの育ちに係る基本的なビジョン(はじめの100か月の育ちビジョン)(令和5年12月22日策定)の名称を、入れるべきと思います。</p> <p>このビジョンは、こども大綱の策定とともに、「こども真ん中社会」の実現を目指すための羅針盤として策定されたものであり、その存在を、全ての人々が認識していくことが大切だと思います。</p>	<p>母親の妊娠期から幼保小接続の概ね100か月を人の生涯にわたるウェルビーイングの基盤となる最も重要な時期ととらえ、国は「幼児期までのこどもの育ちに係る基本的なビジョン(はじめの100か月の育ちビジョン)」を示していることから、こどもまんなか社会の説明の中に以下の文章を追加いたします。</p> <p style="text-align: center;">母親の妊娠期から幼保小接続の概ね100か月を人の生涯にわたるウェルビーイングの基盤となる最も重要な時期ととらえ、国は「幼児期までのこどもの育ちに係る基本的なビジョン(はじめの100か月の育ちビジョン)」を策定</p>
<p>今回の計画のタイトル「こども・若者とその家族が自分らしく輝けるまちづくり」の変更案です。</p> <p>「こども・若者とその家族が安心して育ち、みんなが輝けるまちづくり」</p> <p>「こども・若者とその家族が、安心して育ち、育っていける地域づくりから、全ての人々が輝くまちづくりに向けて」</p> <p>幼児期までのこどもの育ちに係る基本的なビジョン(はじめの100か月の育ちビジョン)で、『特に「こどもの誕生前から幼児期まで」は、人の生涯にわたるウェルビーイングの基盤となる最も重要な時期である。全世代の人でこの時期からこどものウェルビーイング向上を支えていくことができれば「こどもまんなか社会」の実現へ社会は大きく前進する。これは社会全体の責任であり、全ての人々のウェルビーイング向上につながる。』とあります。このビジョンでは、「とも育ち」の視点も伝えており、乳幼児に関わることが全ての人々の成長と幸せにつながっていくことが明記されていることから、このようなタイトルにいたしました。</p>	<p>計画のタイトルは複数回の子ども・子育て会議を重ね委員の皆様のご承認を得て決定し、それに基づき計画の内容を精査してきたこともあり変更はいたしません。計画を進めていく上での参考とさせていただきます。</p>
■子育て支援全般	
<p>出産一時金について 1人目の時は〇〇医院に通院しておりましたが行政から支給される金額では全然足りなくかなり実費負担がありました。日々の検診もそうです。産院と行政はもっと関係を密にし母親や両親の負担を減らせるよう考えて欲しいです。2人目が欲しいとなってもあの産院は高いと思ってしまうので欲しいタイミングに子どもを産めませんでした。長くなってしまい申し訳ございません。上尾市はもっともっと取り組み強化を行えば 住みやすい場所、子どもを育てやすいのびのび育つ場所になると思います。宜しくお願いします。</p>	<p>産科医療機関とより連携を図りつつ、妊娠出産に対する経済的負担状況につきまして共有し検討してまいります。</p>
<p>住みやすい環境にもっともってほしい</p>	<p>こども・若者とその家族が自分らしく輝けるまちとなるよう、こども計画に基づき、様々な取組を行ってまいります。</p>

意見	対応
<p>多子世帯にもっと色々して欲しいです 3人目産んだら何かあるとかしてほしいです。サンキューチケット？がなくなって他のものがないので残念でした</p>	<p>県の事業であるサンキューチケットが終了し、それに変わり現在は子育てファミリー応援事業として、出生児に対してベビーギフトの贈呈を行っているところです。 今後も、県との協力なども含め必要な子育て施策について検討してまいります。</p>
<p>市に子育て支援をがんばってほしい。物価高騰で子育て必需品もどんどん値上がり。消耗品のおむつ支援してほしい。また市独自の子育て世帯への税緩和。</p>	<p>いただいたご意見を踏まえ、今後必要な支援について検討してまいります。</p>
<p>■こども・親の健康</p>	
<p>こども計画案 82 ページ 基本目標2 学童期・思春期・青年期における支援体制の充実 1こどもの心身の健康づくり を見ると ■現状の課題でも、こどもたち一人一人の心を育てていくことに触れられていないように感じます。再考していただけないかと思えます。 道徳教育だけでは、足りないことなのだと思います。今は、別の文言になりましたが、「～やさしい心を育む・他人(ひと)の痛みに共感する力を育む～」が、以前の上尾市人権教育推進プランの基本方針でした。自分の気持ちは置いておいて、まず他者のことになっていて、困った人やかわいそうな人がいたら、助けてあげようという、正しいやさしさを教えがちになるのだと思います。自分の気持ちから、自分ごととして考えるようになって、自尊感情、自己肯定感を育てていくために、日常的な国語教育を見直していくことがとても大切だと思います。 こども大綱においては、こども・若者の社会参画・意見反映(p35～38)について、次のように書かれています。(3)社会参画や意見表明の機会の充実 で、『自らの意見や気持ちを表明してもよいことを理解できるよう、その年齢や発達の程度に応じて、自らの権利について知る機会の創出に向けて取り組む。』とあります。 また、(4)多様な声を施策に反映させる工夫では、『貧困、虐待、いじめ、体罰、不適切な指導、不登校、障害・医療的ケア、非行などを始め、困難な状況に置かれたこども・若者、ヤングケアラー、社会的養護の下で暮らすこども、社会的養護経験者など、様々な状況にあって声を聴かれないこどもや若者、乳幼児を含む低年齢のこども、意見を表明することへの意欲や関心を必ずしも高くもてないこどもや若者がいることを認識し、全てのこども・若者が自らの意見を持ち、それを表明することができるという認識の下、安心して意見を表明し、その意見が施策に反映されるよう、意見聴取に係る多様な手法を検討するとともに、十分な配慮や工夫をする。』とあります。 p43 上尾市の現状 アンケート(7)「誰にも相談したり、助けてもらったりしようと思わない」理由は、「相手にうまく伝えられないから」(小5年生は1位)が上位の結果となっています。 こどもたちだけでなく、大人たちも自分の気持ちを言葉にしていけることから、相談できる関係が持てるようになります。こどもたちが自分の気持ちを言語化する力を学校の授業の中で得られたら、その子の生涯を支えていける教育となるのだと思います。そして、その教育の土台には、どんな気持ちを表しても大丈夫、と思える関係を築くことが大切で、大人側が、子どもたちの言葉を、偏見や思い込みを外し、そのまま聴く姿勢が必要なのだと思います。</p>	<p>心を育てていくことについては、学校保健の推進及び道徳や情報モラル教育の推進において取組を掲載しているところですが、ご指摘のとおり現状の課題について、心に関する内容について触れておりませんでしたので、以下の課題を追加いたします。 ■現状の課題■ ○こどもが健全に成長していくためには、体とともに一人ひとりの心を育てていくことが重要です。</p>

意見	対応
<p>こども計画案 129 ページ (5)産後ケア事業 令和 4 年度に〇〇病院にて宿泊型を利用させていただきました。両家の祖父母が近くにおらず、産後うつに近い状態だったので利用できて大変ありがたかったのですが、対応いただいた助産師の一人の方から、意識すると「病院側は忙しいから宿泊中頼ってこないで」といった発言がありました。産後ケア事業を請け負ってくださる施設側にも意識改善をお願いしたいです。</p>	<p>定期的に委託医療機関と連絡調整を行っておりますので、今後のサービス向上のために委託医療機関の意識改善を促してまいります。</p>
<p>こども計画案こども向け概要版 2 ページ こどもの心身の健康づくり について 以前の上尾市よりスポーツ大会が減ったり、規模が小さくなっていて、運動の機会が少なくなっていると考えます。駅伝大会や球技大会の再開、スポーツ大会の規模を大きくするなどしてほしいです。コロナ禍もありましたし、ゲームの普及、共働きや、塾通いにより放課後の運動機会の減少があり、子どもたちの体力が低下していると思います。アンケートや、新体力テストの結果など分析し、対策を実行していただきたく思います。よろしく申し上げます。</p>	<p>市では、現在、こども達の運動機会の提供を図るため、市民駅伝競走大会やシティハーフマラソン等のスポーツ大会の開催やスポーツ活動のきっかけづくりのための各種スポーツ教室等を開催しております。今後につきましては、こども達の体力状況にも注視しながら、傾向や対策の調査研究を行ってまいります。</p>
<p>4 ヶ月検診や、一歳半検診、3 歳検診 さいたま市のように小児科でやるほういいのかなと思います…。さいたま市から越してきたのでとても不思議に思いました。ひとつの施設に皆さん集まるのとても大変かと思えます。(あとコロナ禍のとき集まるの怖かったです)特に車で来れない方。</p>	<p>現在、市では歯科診察と内科診察が同日に受けられることや心理士、言語聴覚士、保健師、栄養士、歯科衛生士等の多職種による相談や保健指導が同時に実施できることといった利点があることから集団健診を実施しております。引き続き、対象の方が不安なく受診していただけるよう努めてまいります。</p>
<p>■幼稚園・保育所</p>	
<p>こども計画案 77 ページ 教育保育事業の推進 ○園児が安心して小学校への入学、学校生活を…… 施策の方向性(1)就学前の教育・保育の充実 ・質の高い幼児教育・保育を保証しながら、幼児教育・保育と小学校教育の円滑な接続を図ります。とあります。主な取組・事業として保育所英語体験の実施が明記されていますが、現在は3歳から5歳までの幼児の保育料が無料になり実質、幼稚園と保育園の表立った内容の差はなくなりつつあります。しかし保護者サービスを考えると保育園のほうが長時間預かってもらえるので働きやすく受容も多いようです。 しかし、教育内容について所属する施設によって大きく受ける内容が違うのはおかしいと思います。 主な取組・事業に保育所英語体験の実施が明記されています。今は小学校1年生から英語体験が始まっています。2023 年1月の広報には文科省の視学官と市長の対談も広報に掲載されていました。そのような流れの中で英語体験が幼児の世界にも入ってきたように思います 現在は保育園を対象に英語体験に充てる補助金が出ていますが、ぜひ幼稚園にも英語をすでに取り入れているいないにかかわらず、どこの施設に通園しようとも、一律の英語体験を子供たちが受講できるように支援を考えていただきたいと思えます。 それが小学校への円滑な接続の特徴ある上尾の施策になるのではないのでしょうか。</p>	<p>公立保育所では令和 5 年まで英語体験は行っており、一部の私立保育園や認定こども園で導入しているものの、施設ごとに実施内容に相違があることから、公立保育所で行う英語体験の実施に合わせて同程度の内容で行っていただくことができるよう、補助制度を導入したものです。 一方、市内の幼稚園(私立 16 園)では、英語体験に限らず、日本語の読み書き、体操、リトミック、そろばんなど多彩なプログラムを取り入れた教育カリキュラムが実施されています。いずれも運営法人の教育理念に則った教育活動であることから、英語に限定した公的な補助金制度の対象とすることは相応しくないと考えられます。 なお、小学校への円滑な接続は重要であることから、幼・保・小の連携については、上尾市幼児教育推進協議会の意見を踏まえ、引き続き取り組んでまいります。</p>
<p>こども計画案 120 ページ 特定教育・保育施設の確保方策の 3 号 0 歳の人数が、令和 9 年度は 79 人であるのに対し、令和 10 年度が 73 人に減っているのはなぜでしょうか？</p>	<p>入所調整を行う保育所があるため減少となっておりますが、量の見込みを満たす確保方策の数値としております。</p>

意見	対応
<p>概要の保育園と学童について 親の働きやすさの子どもとの住みやすさを考えるのであれば保育園では4月入園ではなく途中入園も可能な仕組みを作ってください 現状一切空きがなく途中入園はほとんど無理です。また基本的に兄弟がいなければ小規模保育園の入園可能性が高く転園の手間もあります。落ちたらどうしようの不安も大きいです。</p>	<p>保育施設の入所に関しましては、大変ご心配をおかけしております。本市では、毎月保育施設の入所調整を行っており、施設に空きがある場合、入所可能です。また、待機児童の解消を図るため、上尾市保育環境整備計画を策定し、民間保育施設を誘致するなど、保育の受け皿の拡充を行っており、子育て世代が頑張れるまちを目指し、引き続き子育て環境の充実に努めてまいります。</p>
<p>保育料と出産について 保育料は3歳以上無償なのはありがたいですが、兄弟がいれば0歳から無料というのを東松山市は導入しており非常に魅力的です。ぜひ導入をお願いします。より、2人目3人目も、子供を考える親が増え不安もなくなります。</p>	<p>本市では所得制限はありますが、生計を一にする兄弟(成年に達しているものでも扶養等で生計を一にしている場合は含む)から数え、第2子の保育料は半額、第3子以降の保育料は無料となっております(延長保育料は除く)。</p>
<p>保育園の面接も気になりました。9月に子供が生まれ 面接の期間は決まっていますが役所に行かなきゃならないのは本当に大変でした…大体決まってる園で面接思っていたので驚きました。電子で保育園の書類を提出出来るようになったのはとても便利でした。子供たちが寝てからわざわざ書類をだして難しい文章をよんであれこれするより、携帯ひとつで子供たちを寝かせながら 保育園の申し込みができたのは楽でした。感謝です。</p>	<p>保育園入所に係る面接につきましては、入所施設でお子様にあった適切な保育を実施するため、お子様の健康状態や発育・発達の程度、疾患等を事前に把握させていただく主旨で実施しておりますことから、ご理解いただければと思います。電子申請につきましては、引き続き、利便性を向上できるよう努めてまいります。</p>
<p>■学童保育所</p>	
<p>こども計画案概要 子供の人数見込み 学童保育:引き続き全員受け入れ前提で、支援員の保証や手当を充実させて、人数を確保してほしい。また空き教室などの利用も含め、学童の施設をきちんと準備してほしい。</p>	<p>学童保育所の待機児童ゼロを継続しつつ学校との連携を図るとともに、学童保育所の運営受託業者に対し、保育所の整備及び適切な運営に係るさらなる支援について、引き続き検討してまいります。</p>
<p>学童に関して1年前から準備をしなければいけないそうですがママ友から聞いて知りました。親の情報収集が求められるわかりにくい仕組みです。また学童はいじめも多く子どもへのストレスを多いと聞いています。なのでこれから利用する者にとっては不安でいっぱいです。</p>	<p>学童保育所の入所については、保育所や幼稚園、認定こども園等に募集要項を設置し、運営事業者によるウェブサイトでのご案内の他、公共施設等へのポスター掲示など、運営事業者と保護者の間で完結できる情報提供の仕組みはご用意していますのでご安心ください。また、先着順の受付等ではございませんので、募集期間中にご検討ください。 お友だちとの過ごし方については、児童と保護者が安心して利用できるような居場所づくりに引き続き努めてまいります。</p>
<p>共働きの時代学童保育を増やして値段も抑えてほしい。他の市よりも代金が高いので。</p>	<p>こどもの居場所については共働き世帯にとって特に重要であると認識しておりますことから、必要な居場所の整備及び適正な保育料の算定について引き続き検討してまいります。</p>

意見	対応
<p>学童保育の時間、料金の見直しについて希望する。他の自治体よりも高くても質が悪く、電車遅延であっても7時を1分でも過ぎると千円取られるのはさすがに搾取されていると感じる。正直、遅い時間は学童の先生は子どもには読書などをさせているだけで子どもを見てはいないのに1分の延長料金として取られるのは不満。</p>	<p>いただいたご意見を踏まえ、今後も保育時間や保育料について引き続き検討してまいります。</p>
<p>■教育</p>	
<p>性教育を幼児期から成長の段階に応じて、適切に実施する計画になっているのでしょうか。こども大綱では、(2)こども施策に関する基本的な方針⑤の中に、「こどもや若者が、発達に応じて、性と生殖に関する健康と権利、性情報への対処や互いを尊重し合う人間関係などを知る機会や場を充実していく。」とあります。上尾市こども計画は、こどもや若者が、発達に応じて性のことを知る機会や場が、適切にある計画となっているのでしょうか。啓発事業の催しとしてではなく、学校での教育として実施していくことで、全てのこどもが知っていけるようになります。学校教育の現場が、性をひとりひとりのこどもたちの人権の根本にあることとして捉えて、こどもたちにどのように伝えていくかを考えていくことが必要と思います。学校として性教育を行うことが、文部科学省の学習指導要領やはじめての性教育のガイドラインがあり、ためらいがある現実でしょうか。しかし、性に関する誤った情報が氾濫している中で、ためらっていると、知らないでいることで結果的に深く傷つくのは、こどもたちです。市民に呼びかけて開く講座や啓発事業は別に実施することで、人々に広く理解を進めながらも、しっかりと学校教育として取り組んでほしいと思います。上尾市こども計画素案では、3か所、性教育についての記載を考えられると思いました。</p>	<p>※以下の3項目の質問の導入部分となります。</p>
<p>こども計画案 83 ページ (3)学校保健の推進 ○児童生徒が性に関する正しい知識を得ることで、性感染症・性被害・性的搾取・望まない妊娠等の防止やLGBTQへの理解を深め、生涯を通じて、自分の「性」に対し、適切な態度や行動をとることができるよう啓発事業を行っていきます。◇性に関する啓発 ⇒これは、担当課はどこでしょうか。学校、教育委員会で担当してほしいです。また、その場合、単に啓発ではなくて、◇包括的性教育 とすべきことなのではないかと思えます。※包括的性教育については、この文書の5)でも書いています。</p>	<p>主な取組・事業として人権男女共同参画課で実施する性に関する啓発を人権の観点から掲載しております。また、教育現場では、包括的性教育に即した内容を「生命の安全教育」として、学校教育全体を通じ、プライベートゾーン・性的同意・デートDV などについて児童生徒の発達段階を考慮して指導計画に基づき系統的に指導をしております。</p>
<p>こども計画案 90 ページ 4学校・家庭・地域の連携の推進 ■施策の方向性(1)地域ぐるみでの家庭教育の推進 ○家庭教育に関する講座を実施する幼稚園の保護者会に対して支援します。また、公民館にて趣向を凝らした親子講座を実施します。≪主な取組・事業≫◇家庭教育の支援◇親子講座の実施 ⇒とありますが、ここに◇性教育講座の実施 と入れてほしいと思いました。 この担当課は、どこでしょうか。教育委員会学校保健課、教育委員会生涯学習課、人権男女共同参画課、の3つが考えられると思いました。</p>	<p>性教育という課題については、家庭教育における重要課題の一つであると存じます。 ここでは生涯学習課の取組・事業を掲載しております。いただいたご意見は家庭教育に関する講座の支援や親子講座を実施する上での参考とさせていただきます。</p>

意見	対応
<p>こども計画案 99 ページ</p> <p>3社会全体での後押し ■施策の方向性(1)こども・若者が権利の主体であることの共有等 で、◇性に関する啓発(再掲)とあります。⇒この担当課は、どこでしょう。人権男女共同参画課でしょうか。教育委員会と、行政の担当課とで分け持って実施することで、市民の理解を得つつ、こどもたちに有効な教育を実施していけるようになってほしいと思います。</p>	<p>主な取組・事業として人権男女共同参画課で実施する性に関する啓発を掲載しております。</p> <p>引き続き、教育委員会と連携を図りながら啓発を行ってまいります。</p>
<p>こども計画案 116 ページ</p> <p>平方地区の世帯、子供数の現象が明らかであるのに統廃合をなかなか進めない。令和6年度より平方小も単学級に突入、平方北小はずっと単学級である。クラス替えが出来ないのは子供にとって悪影響であるので早く合併を検討してほしい。</p>	<p>上尾市学校施設更新計画基本計画において、「子供たちの学びに望ましい学校規模の維持(学校規模の適正化方針)」を定めており、この計画に基づき、平方北小学校においては、令和6年度から地域住民、保護者、未就学児童の保護者、学校関係者等による「上尾市立平方北小学校再編検討協議会」を設置し、学校規模の適正化についての協議を進めています。</p>
<p>政策への意見をこどもたちに求めても、声にできにくいこどもたちは、なかなか自分の意見として出していけるわけではないのでしょうか。また、政策のために声を出すのではなく、その前に、その子の思いや願いを大事にするために、安心して言葉にできる関係がある中で育っていけるといいのだと思います。それは、家庭でも地域社会でも、そんな関係が持てるといいですが、学校ということもにとって大切な教育の場でも、こどもたちが安心して自分の気持ちを言葉にできて、互いに受け止め合う関係が持てることを目指した学校の運営となることを希望します。こども大綱では、まだ、そのために、どのようにするという具体的なことが書かれていないと思います。しかし、大阪の生野南小(統廃合で現在は廃校)で、国語教育からの包括的性教育として行った京都大学のシンポジウムの YouTube の映像があります。是非、見てください。養護施設を抱えていて、いじめや校内暴力で大変だったことから、自分の思いを暴力で表さずに、言葉で伝える力をこどもたちが得ていけるようにしていったのです。私は、この姿勢が本当の包括的性教育だと思います。性加害者の更生をしている齋藤章佳さんも、言語化していくことの大切さを伝えていきます。乳幼児のひとりひとりに、その子の思いや願いがあると、はじめの100か月の育ちビジョンで伝えていますが、今私たちの社会の子育ては、人に迷惑をかけないようにと気を使い、こどもの気持ちを置き去りにしがちです。私は、日々乳幼児とつきあっていると、赤ちゃんたちにはその子自身の思いや願いがあり、周りの人のことも感じる社会性がある存在だと感じます。私たちの施設では、乳幼児の、まだ言葉になっていないけれど、身体ごとの表情からこどもたちの思いを、保護者の方とともに言語化しています。保護者の方たちの語り方が、赤ちゃん・こどもたちを一方的にお世話するだけの存在から、ひとりの人としてやりとりしていける存在へと変わっていき、それは虐待の関係ではなくなっていく可能性、ともに生きていく関係性になっていっていると思います。教育の現場でも、こどもたちが安心して言葉にしておくことをやっていくことが、とても大切だと思います。それは、性教育に特化した場だけでなく、国語教育を中心にやっていけるといいのだと思います。自分の思いを言葉にすることができる、自分の思いと違った時に、NO を言える力を育てていくことにつながります。ここが、言語化が性教育とつながるところです。</p>	<p>子供たちの声を教育活動の充実につなげることに、今後も力を入れて取り組みます。ヒアリングの方法等については、より良い方法がないか、検討いたします。</p>

意見	対応
<p>インクルーシブ教育とは反するが、障害のある子供(ADHD グレー)が周りに迷惑をかけている現状を知って欲しい。暴れる子のせいで学校に行きたくないと言う子もいる。身体障害者など助け合いをしていく教育に異議は無いが、精神発達障害には熟考すべき。我が子のクラスは一学期、暴れる子によって学級崩壊しかけていて、娘も毎日学校へ行きたくないと言っていた。これも同じことだが、単学級となると逃げ道がなく学校へ行くこと自体嫌になる可能性がある。</p>	<p>特別な支援を要する児童生徒やその周囲の子供たち1人ひとりの安心安全な学校生活を担保できるよう努めてまいります。</p>
<p>学校教育:小中向けにデジタル関連の教育をやってもらうのは良いが、デジタル漬けにならないようリテラシー教育がより重要だと思う。</p>	<p>現在、教育委員会では、デジタル・シティズンシップ教育の充実に取り組んでおりますが、児童生徒の情報リテラシーの育成に資するものになるよう、更なる内容の工夫に取り組みます。</p>
<p>■こどもの食・安全(ボランティア)</p>	
<p>三人目は年齢差関係なく幼稚園の給食費(副食費)を無料にして欲しい。今は3年生までが1人目としての扱いになっているため</p>	<p>幼稚園の副食費減免事業は、国の幼児教育・保育の無償化制度の中できょうだい区分の数え方が示されております。引き続き、国・県の動行を注視してまいります。</p>
<p>終業式などの前に給食が終了するのが早すぎる。学童に行かせるのに弁当を持たせる回数が増えるのは困る。授業数も不足したり、行事も簡素化しすぎているのでこういうところを調整してうまく授業のコマ数を使えないのかと思う。都内の小学校ではギリギリまで給食が出ているので、上尾はなぜ?と疑問。</p>	<p>ご意見を踏まえ、上尾市学校給食運営委員会において、毎年の学校給食実施計画について検討してまいります。</p>
<p>上尾市内の小学校の旗当番について。下校ボランティアのように登校時もボランティアを入れていただけたら助かります。以前鴨川小の登下校ボランティアが上尾市から採用された方達が行っていたので、市内全校統一していただけたらと思います。</p>	<p>登下校の見守りについては、各校が安全ボランティアや旗振り当番などと連携を図り、実施しているものでございます。 鴨川小学校で実施していた登下校の旗当番は、市で実施した学区の変更により、登校に慣れない低学年児童の登下校の安全を担保するため、一時的に市で行ったものであり、市内全校統一での実施は予定しておりませんが、登校時のボランティアの効果的な配置ができるよう、各校が作成している通学路安全マップや地域防犯マップを参考にすよう改めて指導し、児童生徒が安心安全な登下校ができるように努めてまいります。</p>
<p>シルバーボランティアを上尾市に充実させてほしい。子育ての不足をシルバーボランティア方に補ってもらいたい。例えば、登校時の旗振り&見守り。ミシンを使う時の手伝い等、働いていて忙しい父兄の代わりにお願いしたい。</p>	<p>市内各学校では、学校応援団として、地域の方々に教育活動に対する支援をいただいておりますが、さらなる充実の方策について検討してまいります。</p>

意見	対応
<p>学区により、近くにある小学校に行けずに遠い所まで通っている。子供の通学の安全が重要であることは明らかであるのにも関わらず、数十年以上合理的な改善がされておらず、即刻検討して欲しい。川地区は今泉小、鴨川小を選択できるようになったものの、それらよりもっと近い富士見や西小への選択肢がないのはおかしい。小学校を中心とした半径距離で分けるべきで、その円が重なる地域は選択制にすべきだと思う。川地区ではないですが、今泉小に近いのに大石や大石南に行かなければならないというパターンもある。対象地域を変更することは様々な変更を伴い大変だとは思いますが、安全には変えられないと思いますので、どうかして欲しいです。何卒宜しくお願い致します。</p>	<p>通学区域(選択区域)の決定につきましては、通学距離のほか、通学区内道路の横断、地元地域の実情などを考慮して決定しているところでございます。 いただいたご意見は今後の貴重な参考として承らせていただきます。</p>
<p>学校関連:近年温暖化により夏が暑すぎるため、特に夏は通学路や帰宅時間帯への配慮をして欲しい。</p>	<p>いただいたご意見を踏まえ、今後の対応について検討してまいります。</p>
<p>■障害児支援</p>	
<p>こども計画案 75 ページ (2)乳幼児の健康づくり・相談の充実 ○ことばの遅れや行動の支援…… 101 ページ 様々な支援が必要なこどもの支援体制の充実 ○障害があるこども一人ひとりについて、関係機関と連携し、…… 心理・言語の専門スタッフによる相談はたぶん保健センターのことばとこころの相談を想定して主な取り組み・事業としてのせてあるかと思えます。 また 101 ページにはつくし学園での支援体制についても明記されています。おもな取り組み・事業にも障害児保育事業が載せてあります。ここでの関係機関との連携という言葉の中に、発達障害児として援助が必要なこどもにかかわっている機関同士(保健センター、つくし学園、保育園、幼稚園)がお互いにその子について気軽に話し合いができるシステムを構築していただきたく思います。そうでなければ、主な取り組み・事業として実行していても、中途半端になるような気がします。 インクルーシブ教育をいくら言っても子どもが関係する機関同士が、障害者が精神的及び身体的な能力等を可能な最大限度発達させ、自由な社会に効果的に参加することを可能とするためには各関係機関が連携していくことが大切だと思います。 個人情報保護で難しいとは思いますが、各機関の顔の見える連携はとて大事なことだと思います。 実行するための具体的な方法の中に関連施設として(保育園と幼稚園)も情報交換及び検討会に参加させていただきたいと考えます。</p>	<p>こどもの支援においては、地域で支援してくださる保育園や幼稚園を含む関係機関との連携及び顔の見える関係づくりは大切なことと考えますので、担当職員が地域に出向いたり、支援者向けの研修会を企画する中で、顔が見える関係の構築に努めてまいります。お子さま個人に関する情報につきましては、個人情報保護法の観点から保護者の同意を得たうえで共有を図ってまいります。</p>

意見	対応
<p>こども計画案 101 ページ</p> <p>「(1)障害のあるこどもの療育・保育の充実」のところで、今年度から高次脳機能障害児への相談が新規に加算の対象になったこと、国の子ども計画策定に係る基本指針が 9 月 30 日に改正されて、以下のことが新規に加えられたことを踏まえて、強度行動障害や高次脳機能障害のあるお子さんへの対応を記していただきたい。以下、内閣府告示第 131 号 令和 6 年 9 月 30 日付(資料 2-2)より (三)障害児施策の充実等 (略) 加えて、強度行動障害や高次脳機能障害を有する障害児については、より専門的な支援が必要になることから、管内の支援ニーズの把握と併せて、地域における課題の整理や専門的人材の育成、地域資源の開発等を行い、地域の関係機関との連携を図りつつ支援体制整備を行うことが必要である。とあります。よろしくお願いたします。</p>	<p>こどもの障害には、強度行動障害や高次脳機能障害を含め様々な障害があることから、本計画において具体的な障害の明記は行いませんが、計画に基づきこども一人ひとりの障害の状態に応じた支援を行ってまいります。</p>
<p>こども計画案 101 ページ</p> <p>「1 障害のあるこども及び家庭への支援の充実」</p> <p>令和 6 年度障害福祉サービス等報酬改定で高次脳機能障害支援体制加算〔障害児相支援〕が新設されたことを受け、高次脳機能障害を有する障害児への支援体制を整備していくことを施策として位置付けてください。</p>	
<p>こども計画案 101 ページ</p> <p>「1 障害のあるこども及び家庭への支援の充実」</p> <p>「強度行動障害や高次脳機能障害を有する障害児に対する支援体制の充実」という施策を位置付けてください。</p>	
<p>次期の障害児計画においては、国の基本指針に即して「強度行動障害や高次脳機能障害を有する障害児に対する支援体制の充実」といった施策を位置づけて、強度行動障害や高次脳機能障害を有する障害児への支援を計画的に実施していただく。</p>	<p>こどもの障害には、強度行動障害や高次脳機能障害を含め様々な障害があることから、障害児計画において具体的な障害の明記は行いませんが、計画に基づきこども一人ひとりの障害の状態に応じた支援を行ってまいります。</p>
<p>中学生の息子の母です。起立性調整障害などで悩んでいる家庭がある中、児童精神科の数が少なすぎる、予約がなかなか取れないことであきらめている家庭があると思います。うちもそうでした。スクールカウンセラーでは限界があります。</p>	<p>市内の精神科の医療機関に対して、児童領域の診療需要が増加していることについて検討いただきたい旨の要望を伝えてまいります。</p>
<p>■こども・親の居場所</p>	
<p>子ども達や親の交流の場、公園や児童館を増やしてほしい。雨でも遊べるような場所をもっと増やしてほしい。公園も壱丁目にかたよってる。</p>	<p>こどもの居場所については特に重要であると認識しておりますことから、必要な居場所の設置について検討してまいります。なお、公園につきましては、土地区画整理事業地内未整備箇所について、順次整備を進めているところです。</p>

意見	対応
<p>ショッピングモールや、公共施設にもっと子供たちが遊べる場所を作って欲しい 室内系の 1 年間通して暑い日が多くなったので公園などの遊びは遊具が熱くなりすぎて遊べない期間が多かった こどもの城の様な室内施設を作って貰えるとたすかりますし、ショッピングモールや公共施設に室内系の遊べる場所を作っていたら遊ばやすい (ショッピングモールや公共施設に声掛けなどできるのであればしてほしい) 今の時代は公園で遊べる時間が少ない 特に幼児は 小学生のお兄ちゃんお姉ちゃんが 3 時から公園に来ると 危なくて遊べないので 朝から昼間に遊ぶのに本当に遊具が暑くてあそべません そのような事が何ヶ月も続いていました。</p>	<p>こどもの居場所については特に重要であると認識しておりますことから、必要な居場所の整備について包括協定を締結している企業との協働なども含めて検討してまいります。</p>
<p>中高生の居場所をつくる案賛成です。</p>	<p>こどもの居場所については特に重要であると認識しておりますことから、必要な居場所の整備について検討してまいります。</p>
<p>■啓発</p>	
<p>こども計画案 68 ページ 基本目標 3 こども・子育てを応援する環境づくり 「子育てと仕事を両立しやすくするため、子育て当事者などへの意識啓発を図る」とありますが、子育て当事者は既に意識が醸成されているのでその啓蒙活動を第一に掲げるのはおかしくはないでしょうか？それよりも、子育て世帯ではない地域住民の方々へ、子育て世帯を温かい目で見守ってもらえるような意識改革を行うべきと感じます。</p>	<p>昨年度実施したアンケートにおいて、父親が育児休業を取得した割合は2割弱に留まっており、特に男性の育児参加についての意識啓発の必要があると考えております。そのほか、企業や地域住民の方々への啓発などに取り組み、子育てと仕事を両立しやすい環境づくりに努めてまいります。</p>
<p>こども計画案 80 ページ 3地域における子育て支援の充実 ■現状の課題 の3つ目の『○子育て＝大変というネガティブなイメージが強くなってきているため、子育ての楽しさなどを伝え、こどもを産み育てたいとポジティブに思える啓発を行う必要があります。』 ⇒ 子育てが大変だと言うのはダメなことで、常にポジティブでいなくてはいけない。と伝わってしまう文だと思います。 次に修正文案を5つ伝えます。 ○子育てには、大変さと楽しさ、どちらもあります。今、子育て＝大変というネガティブなイメージが強くなっていますが、子育てが大変なことは当然であり、その大変さや負担感、不安感、孤立感を声に出せる場や関係があることが大事です。それが、虐待防止にもつながります。 ○子育ては一人でできることではないから、地域や社会と一緒に育てていくから大丈夫、という安心感を持ってもらうことが大切です。 ○子育てや子どもに関わることは、大変さの中にも、自分の価値観や人との関係を開いてもらえる、豊かな可能性や面白さがあることを伝えていくことが必要です。 ○乳幼児は、ひとりの人権を持った人として、今を一生懸命生きている豊かな存在だということを、全ての人々に伝えていくことが大切です。 ○子育ての楽しさや大変さを、保護者だけでなく、地域・学校・行政・企業など、みんなで分かち合い、そのことがそれぞれの成長や結びつきを深めていけるよう啓発を行っていく必要があります。</p>	<p>こども計画全体の中では、子育ての大変さやそれを支える支援施策を掲載しております。 ここでは将来こどもを産む可能性のある世代に対して、こどもを産み育てることの楽しさ・魅力を発信していくことが、市町村が行える少子化対策の取組の一つであると考えていることから、現状の表記としております。 今後、啓発などを行っていく中では、子育ての大変さなども織り交ぜながら市の支援なども含めて情報発信などができればと考えております。</p>

意見	対応
<p>「こどもまんなか」の実現について 自由に子供が遊べる雰囲気のある近場の公園が皆無になっていく現状や、遊べる場所の限定が推進されている自然な流れについての改善が先ではないか</p>	<p>本市も「こどもまんなか応援サポーター」として、こどもたちのために何が最も良いことかを常に考え、支援施策を実施していく中で必要な啓発等も含めて進めてまいります。</p>
<p>■その他</p>	
<p>計画書が拡大できないので、スマホでは字が小さすぎて読めない。</p>	<p>今後、より見やすく閲覧いただけるよう工夫してまいります。</p>
<p>「計画素案をご覧の上、回答フォームで提出をお願いいたします。」という形で学校のほうから案内がきているのに、このページで初めて計画書のページ指定までしなければならぬことが分かるのはおかしいのでは。これで提出数を意図的に絞っているのではないかと感じる。</p>	<p>今後、よりご意見を提出しやすくなるよう工夫してまいります。</p>
<p>平方地区に関しては調整区域が多い事が世帯数減少の要因にもなると思っていますが、市街化する気はあるのでしょうか。</p>	<p>都市計画法上、市街化区域の見直しは埼玉県県の権限となっており、市街化区域の編入については原則として、地理条件(市街化区域に隣接している地域)や土地条件(計画的な市街化が見込まれる区域や良好な市街地を形成または保持すべきと認められる区域)を満たし、人口・土地将来予測との整合がとれ、面整備の確実性等の条件が整った地域において埼玉県と十分協議をした上で検討します。 そのため、現在平方地区において土地区画整理事業等の計画的なまちづくりを進める地区はないため、見直しの予定はございません。</p>
<p>地域連帯支援 子ども(児童)は勉強は嫌いで遊びがすきです。(ほとんど)ゲームをしながら算数を覚える、数字の言葉、数字のパズル、漢字の(生い立ち、意味) デジタルのゲームや遊びもよいですが、アナログの遊びも指を使ったり、試行錯誤して考える。廃材でリメイクして有効遊びができる。紙1枚で遊べる(工作、物づくり、発明?) 地域住民(年上の知識やアイデアなど)の力を有意義に披露していただき、地域活性に繋がれば、子どもも年配者も元気がでると思います) 子どもは大人になる為に、知識を得ようと頑張っています。子どもは親の前では、良い子に、学校では勉強で頑張り、友達のトラブル等)データによると担任の先生とトラブルがあるようで、不登校になる場合がある様です。親、学校の先生と違いな環境も必要ではないかと思えます。礼儀、作法、道徳、マナー等自然に身につくようにしたいと思えます。遊びの時は声がでますが、それ以外は声が小さい。自身が無いから声が小さくなる。自信があれば声が出て活動し行動をします。そのお手伝いをしたいと思えます。 生涯学習コーディネーター 文部科学省 認定(資格)</p>	<p>貴重なご意見として賜ります。</p>

《18歳以下の意見》

意 見	対 応
■子育て支援全般	
市には税金の使い方をよく考えて、社会福祉活動や、環境整備と美化、教育の充実(いじめ、虐待防止)、保育(子育て)の充実、保険証の使えなくなった時の医療の様々な問題に対して、真摯に、適切に対応してほしい。	皆さんや子どもを育てる人たちが安心・安全に暮らせるよう、市の総合的な計画に基づいて政策を進めていく中で、子どもに関する政策については子ども計画に沿って、様々な取組を行っていきます。
より子育てしやすいまちにしてほしい。	皆さんや子どもを育てる人たちが安心・安全に暮らせるよう、子ども計画に沿って、様々な取組を行っていきます。
意見をしても上尾市は何も変わらないし子育て支援や物価高騰の助けがない。議員や市長など給料をもらい過ぎでは？ 一般市民と同じ給料でもまだ立候補しますか？って話です。非課税ばかり優遇され税金払ってる人がなぜ優遇されないのか不思議です。	皆さんがもっと上尾市を好きになる、応援したくなるように市の情報をわかりやすく発信したり、魅力的な施策を進めたりするなどの努力をしていきます。
■子どもの健康	
小児科を増やしてほしい。予約がいっぱいで行けなかったり、行けなくてドラッグストアの薬を飲んでがまんする事が多いから。	小児科の減少は課題となっていますが、子どものために救急医療ができるよう、上尾市は各病院を支援していたり、平日や夜間、休日に子どもも受診できるよう平日夜間および休日急患診療所を開いたりして、少しでも皆さんが病院にかかれるよう頑張っているところです。 これからも皆さんが病気になってもがまんしないで診察してもらえるように市内の病院との良い関係を作っていきます。
病気になりたくないので予防接種を受けたいのですが、インフルエンザワクチンも新型コロナワクチンも補助がないので、お父さんとお母さんが、「お金がかかるー」と言っています。病気になったときの医療費補助だけでなく、病気にならないための補助もしてほしいです。	現在上尾市では、子どもの定期予防接種は無料で接種できますが、それ以外のインフルエンザや新型コロナワクチンは有料となっています。 健康増進課は、皆さんが健康になれるような情報をホームページなどで公開したり、健康になれるようなイベントも行ったりしてワクチンを接種する以外にも病気にならないよう情報発信をしています。ぜひ、そうした情報やイベントを利用したり、手洗いやうがいをしたりして、なるべく病気にならないような健康な体づくりを一緒に工夫して取り組んでいきましょう。
■保育所	
<p>子ども計画案子ども向け概要版 2 ページ</p> <p>1 妊娠前から幼児期における支援体制の充実 小さい頃から英語に触れているのは将来の役に立つと思います。</p>	<p>小学校入学前の子どもたちは、いろいろなことを吸収できる年齢であります。その時期に外国の文化に触れることで、さらに豊かな心を育てていって欲しいと考えています。引き続き、みなさんが楽しみながら外国の文化に触れることで、小学校から始まる英語教育にもスムーズに入っていけるよう、取り組んでいきます。</p>
<p>保育園の英語の取り組みが未来に向けた活動に当てはまり、良い活動だと感じます。</p>	
<p>子ども計画案子ども向け概要版 3 ページ</p> <p>4 番「障がいのある子どもの保育の充実」について、より広まってほしいと思う。</p>	「障がいのある子どもの保育の充実」について、上尾市の広報誌や、ホームページ、SNS などを使って、広まるよう情報を発信していきたいと考えています。

意見	対応
■教育	
上尾市にも中高一貫の東大を目指すような学校を作ってほしい	現在、市内に中高一貫校を設置する予定はありませんが、貴重なご意見とさせていただきます。
塾代が高いので、試験などをして頭の良い子どもなどに補助金を出してほしい	上尾市では、塾代の補助金は用意できていませんが、現在、生活が苦しい家庭やひとり親の家庭の子どもが通える学習支援教室を開いています。今後もいただいた意見を参考に、皆さんが不自由なく学べる環境づくりを進めていきます。
小学校の体育の授業の時、男女一緒に着替えるのは嫌なので別の部屋、更衣室を作ってください。	男女が別に更衣できる場の設定は、とても重要であると考えています。 学校によっては教室がなくて着替える場所を分けることが難しい場合もありますが、仕切りを用意したり、時間を分けたりするなどの工夫をすることで安心して着替えることができる環境をつくっていきます。
■こどもの食	
こども計画案 96 ページ 子育てしやすい環境の整備、経済的支援について。我が家は 3 人兄弟ですが、年が離れて一番上のお兄ちゃんが高校生だったので、給食費の支援が受けられませんでした。お兄ちゃんの年齢がひとつちがうだけで、お友達のおうちは支援が受けられたので、残念だなと思いました。年が離れていても支援の仕組みは一緒にしてほしいです。	より子育てしやすい環境の実現に向けて、ご意見を参考とさせていただきます。
子供の食育について ご飯をなかなか食べない 小食、食事中に他に興味がいつてしまい食べない時にどの様にしたら良いかが知りたい	食べることに消極的な場合、まずはごはんの時間や起きる時間、寝る時間などの生活リズムを整えることが大切です。また、ごはんを食べる場所や一緒に食べる人でも変わってきます。自分では気づけないこともあるので、保健センターに相談してください。また、身近な大人に相談することでヒントが見つかるかもしれません。
フードドライブの窓口の増加を頑張って欲しい。また、スーパーなどの気軽に入れられる場所に増やしたり賞味期限の制限の緩和をしたりして欲しい。	上尾市では毎年、「食品ロス月間」と定められている 10 月に社会福祉協議会とともに「県下一斉フードドライブ」を開催しています。また、昨年 11 月にはセブンイレブンジャパンと協力して、市内のいくつかのセブンイレブンのお店にフードドライブ用の回収ボックスを設置しました。今後も皆さんがフードドライブに気軽に参加できる環境となるように様々な取組について検討していきます。
■こどもの居場所	
こども計画案 88 ページ (2)「居場所、遊び場の提供」について 改修が予定されている現本館に、大宮図書館のようなライトやコンセントが整備され、仕切りのある快適で広々とした自習スペースをぜひ設置していただきたいです。市内にそのような環境が整えば、わざわざ遠方まで足を運ぶ必要がなくなります。また、新しい図書館が快適な自習スペースを提供できれば、若い世代の利用者が増えるとともに、駅からのアクセスの良さから近隣市町村からの利用者も増加する可能性があります。	図書館本館の改修では、館内のレイアウトを大きく変更することを考えています。機能的な自習スペースの設置も含め、若い世代の皆さんにも居心地の良い空間として利用してもらえよう整備に努めていきます。

意見	対応
<p>こども計画案こども向け概要版 2 ページ 子どもの居場所を作ります 中高生だけでなく、小学生の居場所を、もう少し増やして欲しいです。富士見小学校の生徒が、放課後や長期休み期間に、友達と自由に遊べるように、富士見小の体育館、図書館などを開放して欲しい。上尾市に2つある児童館は遠いので、富士見小学校の生徒は利用しづらい。公園も、不特定多数の人が利用する為、防犯の観点から、子どもだけで利用するのは、危険な部分もあると思います。</p>	<p>安心安全な「こどもの居場所づくり」について、ご意見も参考に考えていきたいと思えます。</p>
<p>こども計画案こども向け概要版 2 ページ 子どもの居場所、体験機会の提供について具体的な方法や案を提示して欲しい。</p>	<p>こども向けの概要版では具体的に紹介していませんが、こども向けの講座の開催や中・高校生の居場所づくり、学校ファーム等での農業体験活動などに取り組んでいきます。こどもの居場所はとても重要であると考えていますので、必要な居場所の整備について引き続き検討していきます。</p>
<p>図書館のような勉強スペースをいっぱい作ってほしい</p>	<p>勉強するスペースを含めこどもの居場所はとても重要であると考えていますので、必要な居場所の整備について検討していきます。</p>
<p>子供の居場所の提供を充実させてほしい。勉強をする場所も欲しい。ボランティアで教えてくれる人がいるともっといいと思う。</p>	
<p>地域で行事づくり ハロウィンやクリスマスみんなで楽しめる物。 みんながいとも集まって遊べる公園 月曜日は、鬼ごっこ 火曜日は、陸上 水曜日は、かくれんぼ 木曜日は、縄跳び 金曜日は、昔遊び みたいにやりたい子が誰でも参加できる子供だけで！！</p>	<p>行事を通じた地域での交流はとても重要であると考えていますので、こどもたちが地域で気軽に遊びに参加できるよう、関係する団体と検討していきます。</p>